


取組名 / 製品名 (取組店舗名)	京都市におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減に関する協定
取組主体	京都市レジ袋有料化推進懇談会
ポイント	事業者、行政、市民団体の連携により、レジ袋の有料化を推進。市民団体（消費者）は、協定により、レジ袋を有料化した事業者を支援していくこととしている。
主な取組	事業者、市民団体、レジ袋有料化推進懇談会、京都市の 4 者で協定を締結。4 者の役割分担のもと、レジ袋削減に向けた取り組みを進めている。
先進性・独自性	事業者、行政に加え、協定に市民団体が参加し、事業者の取り組みについて消費者としても支援する、という京都市独自の協定方式となっている。
有効性	協定の締結直後のため年間使用量等、把握できてはいないが、速報として全ての事業者で目標値を既に達成しているとの報告がある。
継続性	懇談会が事業者の取り組みの評価を行い、京都市が P R を行うとともに、継続的に年 2 回程度の広報を行っていく予定。
波及性	スーパーマーケット等が仙台市、横浜市、中部圏、大阪府等で協定締結に向け行政及び各団体と協議を行っており、取組は全国に波及している。全国の自治体からも京都市に問い合わせが来ている。
その他	3 月中旬に京都市レジ袋有料化推進懇談会の中で協定締結後の成果報告会の記者発表を行う予定。
備考	
お問い合わせ	京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 4 8 8 番地
	京都市レジ袋有料化推進懇談会
	京都市環境局循環型社会推進部循環企画課
	担当 / 山田 ^{やまだ} ^{かずお} 一男 TEL. 0 7 5 - 2 2 2 - 4 0 9 1